

2018年7月31日
東芝ライフスタイル株式会社

野菜の老化を抑制して、鮮度保持性能を更に向上した、冷凍冷蔵庫「ベジータ」を発売

東芝ライフスタイル株式会社は、まんなか使用頻度の高い野菜室をレイアウトした冷凍冷蔵庫「VEGETA(ベジータ)」の新製品として、野菜の老化を抑制し、野菜室の鮮度保持性能を更に向上させた「FWA/FWシリーズ」と、野菜室のお手入れに便利なお掃除口を採用した「FDシリーズ」計3シリーズ7機種を2018年9月下旬から順次発売します。



GR-P600FW
(UW)クリアグレイホワイト



(GR-P600FW(ZC)ラピスアイボリー



キッチン空間での設置・使用 イメージ)

【新製品の概要】

タイプ	型名	本体色	定格内容積	価格	発売時期	月産台数
6ドア 冷凍冷蔵庫 「VEGETA」	GR-P600FWA	(X)ダイヤモンドミラー	601L	オープン	9月下旬	16,000台
	GR-P600FW	(ZC)ラピスアイボリー／(UW)クリアグレイホワイト	601L			
	GR-P550FW	(ZC)ラピスアイボリー／(UW)クリアグレイホワイト	551L			
	GR-P510FW	(ZC)ラピスアイボリー／(UW)クリアグレイホワイト	509L			
	GR-P460FW	(ZC)ラピスアイボリー／(UW)クリアグレイホワイト	462L			
	GR-P510FD	(EC)サテンゴールド／(EW)グランホワイト	509L			
	GR-P460FD	(EC)サテンゴールド／(EW)グランホワイト	462L			

新製品の「FWA/FWシリーズ」では、「もっと潤う 摘みたて野菜室」を更に進化させ、野菜の鮮度を保つ「ミストチャージユニット」に、野菜の老化を促すエチレンガスを分解する「プラチナ触媒」を加えました。この「プラチナ触媒」がエチレンガスを吸着し水と二酸化炭素に分解することで野菜の老化を抑制します。可視光触媒にLEDの光を当てることで、庫内を除菌^{注1}・脱臭^{注2}する従来の「ルネキャット[®]注3」との組み合わせにより、エチレンガス分解性能が約10%^{注4}、水分保持率は約1.2倍^{注5}に向上。野菜本来のみずみずしい食感を維持すると共に使いかけの野菜の変色も抑制、さらに栄養素もアップし新鮮なおいしさが長持ちします。

また、従来の「節電機能」と「おでかけ機能」を融合させ、ボタン1つで手間なく節電を可能にした「自動節電^{注6}機能」を新採用。24時間扉の開閉がない場合には外出している状態と判断し、自動で「おでかけモード^{注7}」に切り替わることで約20%^{注8}節電します。

デザイン面では、近年のインテリアトレンドである「マテリアルミックス」スタイルに調和する、繊細な木目の表現とハンドル部の艶やかなパールシルバーとのコンビネーションで魅せる「クリアグレイホワイト」をFWシリーズで新採用し、キッチン空間を上質に演出します。

また、無線LAN接続に対応したGR-P600FWAを導入。当社が提供するクラウドサービスのスマートフォン専用アプリの利用により、冷蔵庫とスマートフォンを無線LANで繋ぎ、より便利で安心なサービスを提供します。

【新たな特長】(FWA/FW シリーズについて特記)

1:「もっと潤う 摘みたて野菜室」が進化。エチレンガス分解性能を約10%^{注4}向上し、野菜の老化を更に抑制

2:モダンなキッチン空間を上質に演出する、「クリアグレイホワイト」を新たに採用(FW シリーズのみ)

3:外出中でも運転状況確認や操作設定の変更などが可能に！より便利で安心なサービスを提供(GR-P600FWAのみ)

【新製品の主な特長】

1:「もっと潤う 摘みたて野菜室」が進化。エチレンガス分解性能を約 10%^{注4} 向上し、野菜の老化を更に抑制

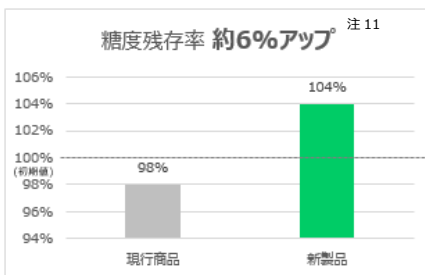
「もっと潤う 摘みたて野菜室」は、高湿度の冷気を1日20回以上^{注9}送ることで、野菜の保存に最適な約95%以上^{注10}の高湿度環境を保ちます。野菜の鮮度を保つ「透湿シート」を採用した「ミストチャージユニット」の搭載により、乾燥の一因となる冷気が野菜に直接当たることを防ぎ、野菜を潤す水蒸気だけを通すことで野菜に適した低温・高湿度環境を保っています。

新製品の「FWA/FWシリーズ」は、野菜の老化を促すエチレンガスを分解する「プラチナ触媒」を「透湿シート」へ加えました。「プラチナ触媒」がエチレンガスを吸着し水と二酸化炭素に分解することで野菜の老化を抑制します。可視光触媒にLEDの光を当てることで、庫内を除菌^{注1}・脱臭^{注2}する従来の「ルネキャット[®]注3」との組み合わせにより、エチレンガス分解性能が約10%^{注4}、水分保持率は約1.2倍^{注5}に向上。野菜本来のみずみずしい食感を維持すると共に、使いかけの野菜の変色も抑制し、彩りの鮮やかさが長持ちします。さらに、まとめ買いによる買い置き野菜も、進化した野菜室により栄養素がアップし、新鮮でおいしさそのままに保存することが可能です。

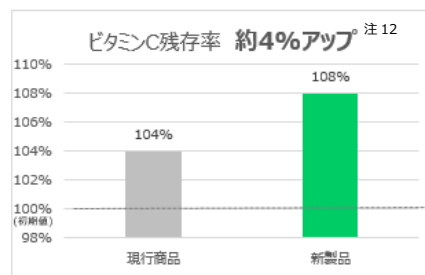


「ミストチャージユニットのしくみ」イメージ

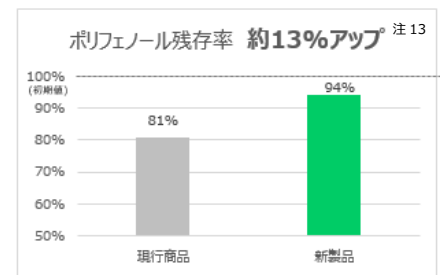
【新製品と現行商品との栄養素増量比較表】(当社調べ)



にんじんの糖度比較(7日目)



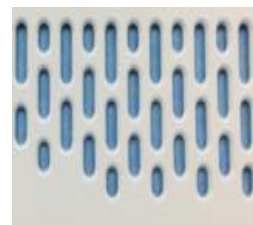
ブロッコリーのビタミンC比較(7日目)



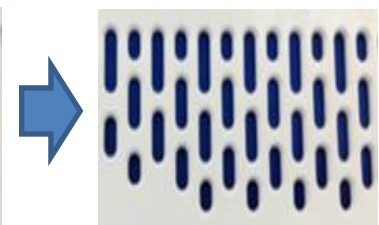
ぶどうのポリフェノール比較(7日目)



使いかけ野菜の変色抑制^{注14}イメージ



(現行商品 透湿シート)



(新製品 透湿シート+プラチナ触媒)
エチレンガスを吸着して水と二酸化炭素に分解

2 : モダンなキッチン空間を上質に演出する、「クリアグレイホワイト」を新たに採用 (FW シリーズのみ)

近年の傾向として、木・石・ガラス・メタルなど様々な素材をコントラストを抑えてミックスした「マテリアルミックス」スタイルのインテリアがトレンドとなっており(当社調べ)、インテリアにこだわる方に向けて、繊細な木目の表現とハンドル部の艶やかなパールシルバーとのコンビネーションで魅せる、新しいホワイト「クリアグレイホワイト」を採用。ガラス面材の質感を活かしながら、ナチュラル系のインテリアだけでなく、ラグジュアリーなグレイッシュインテリアにも調和するデザインでキッチン空間を上質に演出します。

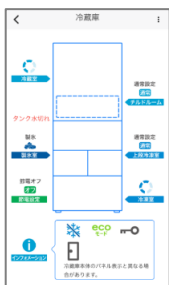


繊細な木目の表現とパールシルバーのコンビネーション
クリアグレイホワイト色調を採用

3 : 外出中でも運転状況確認や操作設定の変更などが可能に！より便利で安心なサービスを提供 (GR-P600FWA のみ)

無線LAN接続に対応したGR-P600FWAを導入。当社が提供するクラウドサービスのスマートフォン専用アプリをダウンロードし、冷蔵庫とスマートフォンを無線LANで繋ぐことで、家の中ではもちろん外出中でも運転状況が確認できたり、操作設定が変更できたりと、より便利に安心して冷蔵庫をお使いいただけます。

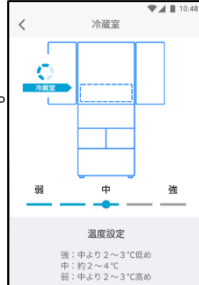
【主な機能】



状態確認

外出先からも運転状況を確認できます。

- ・庫内設定
- ・製氷用タンクの水切れ
- ・霜取り運転中 など



操作設定

冷蔵室や冷凍室、チルド室の操作設定ができます。

- ・温度調節
- ・節電設定
- ・チルド機能設定
- ・冷凍機能設定 など



省エネのアドバイス

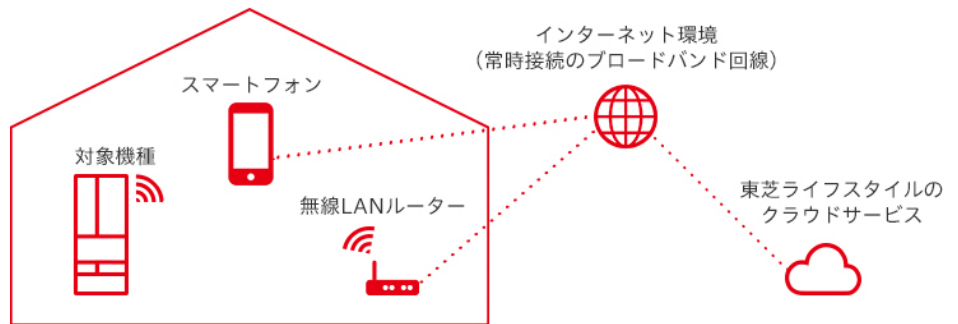
扉の開閉回数をグラフ化。庫内の温度変化と併せた状況を基に、省エネに関するアドバイスを受け取ることができます。

- ・扉開閉回数
- ・温度状況

〈アプリ使用イメージ〉



GR-P600FWA
(X)ダイヤモンドミラー



〈接続のイメージ〉

※アプリのダウンロード及びサービス利用にはインターネットへの接続環境が必要です。利用時に必要なインターネットの通信費は、利用者の負担となります。
 ※アプリのダウンロード・登録・利用はいずれも無料です。
 ※無線通信を使用していますので電波の特性上、環境条件により通信距離、通信速度は異なります。
 ※当サービスは9月下旬のリリースを予定しています。画面イメージは開発中のもので、実際サービス提供する場合の画面や仕様と異なる場合があります。

4 : その他の特長

- ・「自動節電^{注6}機能」：ボタン1つで手間なく節電。24時間扉開閉がないと外出状態と判断し、約20%^{注8}節電します。
- ・「速鮮チルド」：素早く冷やすことで肉や魚といった生鮮食品の劣化を防ぎ、おいしい状態のまま保存することが出来ます。
- ・「お掃除口」：野菜室の大きなケースを外すことなく、集めた野菜くずや泥をお掃除口から捨てる事が出来ます。
- ・「タッチオープンドア」：調理中や両手がふさがっている時に便利な、手をかざし光るスイッチに軽く触れると自動で開きます。
- ・「フロントブライト照明」：庫内天井に加え、ドア側からもLEDで照らすことで庫内を明るく見やすくします。



「速鮮チルド」イメージ



「お掃除口」使用シーン イメージ



FWA/FW/FD シリーズ
全機種に搭載



「タッチオープンドア」使用シーン イメージ



【新製品の主な仕様】

形名	GR-P600FWA	GR-P600FW	GR-P550FW
種類	冷凍冷蔵庫 6ドア(フレンチ両開き)		
定格内容積	601L		551L
冷蔵室(チルド)	305 L < 24 L >		281 L < 21 L >
	野菜室		122L
	製氷室		20L
	冷凍室		128L
外形寸法	幅 685mm		
	奥行き 745mm		699mm
	高さ 1,833mm		
扉の材質	強化処理ガラス		
本体色	(X)ダイヤモンドミラー	(ZC)ラピスアイボリー (UW)クリアグレイホワイト	
無線 LAN 接続	○	—	
自動節電機能 ^{注6}	○		
タッチオープン	○		
フロントブライ照明	○		
除菌 ^{注1} ・脱臭 ^{注2}	ルネキャット ^{注3}		
野菜室機能	もっと潤う 摘みたて野菜室、お掃除口		
チルド室機能	速鮮チルド(2段)、解凍モード		
冷凍室機能	一気冷凍、野菜そのまま冷凍、霜ガード冷凍(可変プレクール)		

形名	GR-P510FW	GR-P460FW	GR-P510FD	GR-P460FD
種類	冷凍冷蔵庫 6ドア(フレンチ両開き)			
定格内容積	509L	462L	509L	462L
冷蔵室(チルド)	260 L < 19 L >	237L<16 L >	260 L < 19 L >	237L<16 L >
	野菜室	103 L	112 L	103 L
	製氷室	18L	20L	18L
	冷凍室	104L	117L	104L
外形寸法	幅 650mm			
	699mm	649mm	699mm	649mm
	高さ 1,833mm			
扉の材質	強化処理ガラス			
本体色	(ZC)ラピスアイボリー (UW)クリアグレイホワイト		(EC)サテンゴールド (EW)グランホワイト	
自動節電機能 ^{注6}	○			
タッチオープン	○			
フロントブライ照明	○	—		—
除菌 ^{注1} ・脱臭 ^{注2}	ルネキャット ^{注3}		—	
野菜室機能	もっと潤う 摘みたて野菜室、お掃除口			
チルド室機能	速鮮チルド(2段)、解凍モード		新鮮 摘みたて野菜室、お掃除口	
冷凍室機能	一気冷凍、野菜そのまま冷凍、霜ガード冷凍(可変プレクール)			

注1 【試験依頼先】(一財)北里環境科学センター、【試験方法】410L 試験ボックスに菌を噴霧。ルネキャットユニット運転後の変化を測定、【対象場所】冷蔵室、チルドルーム、野菜室、【試験結果】99%以上の除菌効果を確認、試験結果は実使用空間の実証結果ではありません。

注2 【試験方法】ルネキャットあり/なしの冷蔵庫内にアンモニアを注入し、一定時間毎に検知管で濃度を測定。周囲温度 20℃、扉開閉なしの場合。試験結果は、実使用空間の実証結果ではありません。また全てのニオイがとれるわけではありません(当社調べ)。

注3 ルネキャットは(株)東芝の登録商標です。

注4 【試験方法】125L 試験ボックス内にエチレンガスを注入しプラチナ触媒を加えた透湿シートを設置後、ガスクロマトグラフ法にて一定時間毎にエチレン濃度を測定、【測定結果】2017 年度商品 GR-M600FWX と新商品 GR-P600FW 搭載仕様の比較。分解速度、M600FWX : 270μL/h、P600FW : 296μL/h(当社調べ)。

注5 【試験方法】2017 年度商品 GR-M600FWX の野菜室と新商品 GR-P600FW の野菜室にニラを7日保存後の比較。M600FWX:66.7%、P600FW:80.2%(当社調べ)。保存前の状態や種類、運転状況によって異なります。

- 注 6 抑えめの運転をするために、食品保存に影響を及ぼさない範囲で庫内温度を約 1℃～2℃高めに設定します。使用環境により節電効果は変わることがあります。
- 注 7 抑えめの運転をするために、通常の製氷時間より速度を落として製氷します。冷蔵室・製氷室・冷凍室下段の扉を開けるとおでかけモードは自動で解除されます。JIS C 9801-3：2015 年 測定基準とは異なります。使用環境・機種により節電効果は変わることがあります。
- 注 8 通常運転と「自動節電」機能おでかけモードとの比較。当社試験環境室において、以下の当社試験条件にて測定した値。条件：ビルトイン設置状態の GR-P600FW において、周囲温度 30℃時。通常運転：冷蔵室「中」・冷凍室「中」設定。扉開閉なし。製氷運転あり。「自動節電機能」おでかけモード：「自動節電」機能設定後、24 時間扉開閉がないと自動で切替。1.1kWh⇒0.9kWh。使用環境・機種により測定値は異なります。おでかけモードの効果測定条件は JIS C 9801-3：2015 年 測定基準とは異なります。
- 注 9 運転環境や条件により、回数は増減することがあります(当社調べ)。
- 注 10 食品負荷有り時、運転状況や食品の量、種類によって異なります(当社調べ)。
- 注 11 【試験依頼先】(一財)日本食品分析センター、【試験方法】2017 年度商品 GR-M600FWX の野菜室と新商品 GR-P600FW の野菜室に 7 日保存後、Abbe 屈折計法にてにんじんの糖度を測定、【試験結果】従来品 98%、新商品 104%。保存前の状態や種類、運転状況によって異なります。
- 注 12 【試験依頼先】(一財)日本食品分析センター、【試験方法】2017 年度商品 GR-M600FWX の野菜室と新商品 GR-P600FW の野菜室に 7 日保存後、高速液体クロマトグラフ法にてブロッコリーのビタミン C 濃度を測定、【試験結果】従来品 104%、新商品 108%。保存前の状態や種類、運転状況によって異なります。
- 注 13 【試験依頼先】(一財)日本食品分析センター、【試験方法】2017 年度商品 GR-M600FWX の野菜室と新商品 GR-P600FW の野菜室に 7 日保存後、FOLIN-CIOCALTEU 法にてぶどうのポリフェノール濃度を測定、【試験結果】従来品 81%、新商品 94%。保存前の状態や種類、運転状況によって異なります。
- 注 14 【試験方法】2017 年度商品 GR-M600FWX の野菜室と新商品 GR-P600FW の野菜室に 7 日保存後の比較。当社調べ。保存前の状態や種類、運転状況によって異なります。

* 本プレスリリースに記載している会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

<一般のお客様からのお問い合わせ先>

東芝生活家電ご相談センター フリーダイヤル 0120-1048-76

受付時間 9:00～18:00 (平日・土) 9:00～17:00 (日・祝日)【当社指定休日を除く】